

2020年度町田市教育委員会

第9回定例会会議録

- 1、開催日 2020年12月16日
- 2、開催場所 第二、三、四、五会議室
- 3、出席者
- |       |         |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 坂 本 修 一 |
| 委 員   | 後 藤 良 秀 |
| 委 員   | 森 山 賢 一 |
| 委 員   | 八 並 清 子 |
| 委 員   | 井 上 由 奈 |
- 4、署名委員 教育長
- 委 員
- 5、出席事務局職員
- |              |           |
|--------------|-----------|
| 学校教育部長       | 北 澤 英 明   |
| 生涯学習部長       | 中 村 哲 也   |
| 教育総務課長       | 田 中 隆 志   |
| 教育総務課担当課長    | 是 安 智 彦   |
| 施設課長         | 浅 沼 猛 夫   |
| 施設課担当課長      | 平 川 浩 二   |
| 指導室長         | 小 池 木 綿 子 |
| (兼) 指導課長     |           |
| 指導課担当課長      | 野 田 留 美   |
| 指導課統括指導主事    | 宇 野 賢 悟   |
| 生涯学習部次長      | 佐 藤 浩 子   |
| (兼) 生涯学習総務課長 |           |
| 生涯学習総務課担当課長  | 西久保 陽 子   |
| 生涯学習センター長    | 塩 田 一 人   |
| 図書館長         | 中 嶋 真     |

図書館市民文学館担当課長

江波戸 恵 子

(町田市民文学館長)

書 記

中 里 典 子

書 記

大河内 和歌子

書 記

瓜 田 円

速 記 士

帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

## 6、提出議案及び結果

議案第33号 学校支援ボランティア感謝状の被贈呈者の承認について 原 案 可 決

## 7、傍聴者数 1名

## 8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第9回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は井上委員です。

日程の一部変更をお願いいたします。日程第2、議案審議事項のうち、議案第33号につきましては、個人情報にかかわる案件であることから非公開とさせていただいて、日程第3、報告事項終了後に、一旦休憩をとりまして、関係者のみお残りいただいて審議をしたいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきますと思います。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず私のほうから何点かご報告させていただきます。

まず先月、11月6日(金)に開催されました中学校連合音楽会では、市民ホールに子どもたちのすばらしい合唱や合奏が響き渡っておりました。私は、議会対応で、午後の部しか拝見できませんでしたが、教育委員の皆様も感動したことと思います。生徒たちの心に

響く演奏は町田市の子どもたちのレベルの高さを感じ、また、他校の生徒の発表を清聴するマナーのよさにも感動いたしました。この音楽会の開催のために、感染症対策に万全を期して、演奏者や入場者の数を制限するなど、密になることを避けるようにさまざまな工夫をし、ご尽力をいただいた中学校教育研究会の音楽部の先生方を初め、各校の担任の先生方に感謝を申し上げたいと思っています。

もう一つ、この間、11月7日（土）の大蔵小学校の開校40周年記念式典を初め、13日の本町田東小学校の開校50周年、14日の木曾境川小学校の開校20周年、20日の山崎小学校の開校40周年、12月4日の鶴川第四小学校の開校50周年と、小学校5校の周年行事が開催されました。

周年行事は、長年にわたる学校の歴史の中で、多くのご支援、ご協力をいただき、学校を支えていただいた保護者や教職員、地域の皆様へ感謝と敬意を伝え、地域との結びつきをさらに深める場でもございますが、今年のコロナ禍の中での開催は、各学校ともに来賓や在校生の出席者数、式典の次第、開催時間などの式典の規模、在校生によるパフォーマンス、アトラクションの内容など、かなり悩まれ、工夫を強いられたことと思います。

その中でも、山崎小学校の6年生が披露した拍手と身ぶりだけの演奏というのは実に心に残りました。音楽科の先生の発案とお聞きしましたが、拍手のテンポと体の動きだけで実に見事に音楽を表現していたと思います。今後ともぜひこのような各学校の特色ある教育活動の意義や効果を、子どもたちを初め、保護者の皆様、そして地域に十分に伝わるように、さまざまな機会、媒体を通して発信をしていただきたいと思います。

そのほかの主な活動はお配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

次に、各委員の皆様からご報告をお願いいたします。

**○後藤委員** 11月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で、周年の記念式典あるいはオンラインを使った公開研究会などで、子どもたちの状況をかいま見る機会がありました。学校では、新教育課程の中で、主体的・対話的で深い学びを実現するために、町田市教育委員会が示す8つの授業づくりの視点を生かした授業に取り組んでいることと思いますが、果たしてその実現状況はどうなっているのかというのが非常に心配になるところです。

この状況の中で、余裕のない授業時数を消化しなければならない、やらなければならないという中で、教科書の内容を終わらせるために、子ども主体の学びではなく、仕方なく

教師主導の授業が当然多くなってきていると思います。また、期間が短くなっているわけですから、授業の進度をこれまで以上に速くしなければならない。そのため、きめ細かい指導が行き届かないで、学力の差も出てきているのではないかと聞いています。

一方、教師のことは見てみますと、理想とする授業、つまり、ここで言えば、先ほどの主体的・対話的で深い学びなどを実施したいところですが、それが十分にできないという悩みとか、充実感が得られないとか、そういうことによる疲労感とか、精神的な疲れを感じているのだという調査結果を見ました。

学校は、教育課程の実施状況を節目節目で捉えて、そのときの課題を見出して、すぐに改善して、よりよい実現を目指すことはもちろんですが、それがなかなかできにくいこのコロナ禍では、教育委員会が、その実現状況、特に授業の実態を捉えながら、どのように改善を図っていくべきなのかという指導とか支援を入れてあげることが必要ではないかと考えています。

ちょうど現在、学校評価、そして来年度に向けての教育課程編成の時期にこれから入っていくわけです。とはいえ、改善すべき点は、1月の授業から生かせるように、各学校に指導あるいは支援をしていただければと思っております。

私からは以上です。

○森山委員 私のほうから何点かご報告させていただきます。

まず、先ほど教育長の報告にもございましたが、周年行事に出席させていただきました。11月7日、大蔵小学校の開校40周年、11月14日の木曽境川小学校の開校20周年という記念式典です。コロナ禍での式典ということで、感染症拡大防止を徹底的に行いながら式典の方向が示され、非常にしっかりとした式典が挙行されまして、私も非常にうれしく思っております。

11月9日、町田第二中学校で行われました町田市立中学校PTA連合会の東ブロックの会議に出席をさせていただきました。コロナ禍での学校と保護者との関係、情報の共有が非常に大事だということで、非常にしっかりとした意見交換もできたと思います。

それから、PTAの方々からGIGAスクール構想についての質問が大分出ておりました。いつごろからどういうふうになるのですかとか、児童・生徒1人1台端末の時代を迎えて、もう学校に入っているそうですねとか、これからどのように使うのですかとか、いろいろなお話が非常に盛んにこのブロック会議では出ておりました。校長先生方も、そういう今後の取り組みに対しての方向性とか、今後どのような形で取り組むか、あるいは来

年度からの方向とか、そのあたりについてPTAの方々に丁寧に報告をされておりました。そういうことでの保護者と学校との関係が非常に大事だということをつくづく感じた次第です。

最後に、こちらの活動報告にはないのですが、12月13日に玉川大学で教師教育フォーラムがオンラインで開催されております。私も出席しましたが、200名ほど受講者がおりました。この中で、『Machida Next Education』の取組」ということで、町田市の教育委員会教育センターの林さんからご報告をいただいております。全国から、先ほど申し上げたとおり200人ぐらい自主的参加をしておりましたが、町田市の教育の情報化とか、個別最適の学びということで答申のまとめが出ております。そのあたりのところに大分いろいろな関心が集中したという印象を受けております。町田市の取り組み、先導的に、所轄する全部の学校でこの方向で進めるということで、全国の関心が非常に集まっておりました。これは報告でございますが、今後もICT活用の取り組みについて、これまで以上に積極的に進めていただければありがたいと思います。

以上です。

**〇八並委員** 私からも報告させていただきます。

各委員と同じように、私も各校の周年記念式典、あるいは市教委訪問などで伺わせていただきました。中でも大変印象に残りましたのが、先ほど教育長からもお話がありました。山崎小学校の40周年記念式典でございます。本校は我が家の近所でありまして、子どもたち3人が卒業した学校であります。また、20周年記念式典の際には、私も記念事業に携わっておりました。そのようなこともあり、それから20年たったという感慨深さもあり、大変記憶に残った式典となっております。20年の歳月がたったのだなという中で、昔からお世話になっている地域の健全育成の委員の方々、あるいは懐かしい先生のお顔を拝見して、子どもたちの成長と合わせると、学校教育が長い時間をかけて人を成長させる大変大きな礎になっているのだなということを改めて感じる式典でございました。

また、教育長のお話にもございましたが、式典に臨みました6年生が披露してくれた「五拍子の舞曲」によるパフォーマンスは本当に圧巻でございました。打楽器を中心とした曲だそうですが、音楽の先生により、子どもたちで合わせた打楽器と手拍子によるパフォーマンスをやっておりました。

市教委訪問などでも感じましたが、特に音楽の先生は、歌唱あるいは合奏などをどのように授業に取り入れたらよいかということをご苦労されておりました。歌唱、コー

ラスなどは、全日本合唱連盟などの基準に基づいて、子どもたちの授業に取り入れたり、いろいろな工夫をされて、先生方が音楽の授業をされているというお話を伺っていただきました。

その中で、山崎小学校の6年生によるパフォーマンスは、発声をせずに、体の表現、そして手拍子で行っていて、これも大変すばらしい音楽表現であることを実感した次第でございます。先生方のそのような工夫がどの学校でもなされているということを考えますと、とてもありがたいことだなと実感いたしました。各校の長い歴史の中で育てられた卒業生が多くいること、その周りには保護者の皆様、地域の皆様の本当に厚い支援があって成り立っているのだなということをどの周年行事でも実感するところでもございました。

私からの報告は以上です。

○井上委員 前回の定例会の後、中学校連合音楽会の午後の部に出席いたしました。ステージ上の人数制限や、学校を入れかえ制にするといった感染症対策がとられていました。元気いっぱい勢いがあったり、丁寧さを重視していたり、観客を巻き込む演出があったり、学校ごとの特色を演奏に感じ取ることができました。何より印象的だったのはそのひたむきさです。演奏の優劣ではなく、楽器と向き合い、1つの作品として全員でまとめ上げるまでの努力をかいま見ることができ、打ち込めるものに出会えるというすばらしさを体感いたしました。

大蔵小学校や本町田東小学校の周年記念式典は、残念ながら、時間短縮を図り、予定内容を変更せざるを得ない状況でしたが、背筋をピンと伸ばし、堂々と呼びかけの言葉を発する高学年の子どもたちの姿はとても立派でした。

また、11月14日には、東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修にオンラインで参加いたしました。生涯学習センターの講座から生まれた「らぶ♡ふぁみ」という子育て情報のフリーマガジンを発行しているグループの代表の西行さんのお話や、町田市地域活動サポートオフィスの事務局長の喜田さんのお話の中で、学びを中核とする地域協働が必要であるということを再認識いたしました。

町田市では、2021年度より、コミュニティ・スクールに移行していくこととなりますが、学習支援や幼・小・中・高・大の連携、多文化共生、多世代交流など、地域社会と学校教育との接続がこれまで以上に求められてくるのではないかと思います。では、具体的にどのようにしてつながっていこうかという提案が多方面から投げかけられたところで終わりましたので、今後の活動報告がとても楽しみです。

そして、11月24日に行われた中P連の南ブロック会議についてです。休校期間中の子どもたちの様子の報告とそれぞれの取り組みの苦労や工夫を発表し合いました。ICTの活用については、クロムブックを配布する準備段階まで整いましたが、これからはそれを設定し、どう運用していくかという段階に入ってきたところであることを相互確認いたしました。PTAや地域でそれをサポートするのはどうかというありがたいご意見もいただき、地域の皆様のお力添えあってこそその学校運営であると感じました。このコロナ禍を前向きに捉え、活動のスリム化を精査しながらも、こうした横のつながりを大切に、着実な活動をしてくださっているということをもっと多くの保護者や子どもたちに知っていただけたらいいなと思いました。

最後に、私の子どものことなのですが、この間、小1の娘が学校から少し遅く帰ってきたのです。何で遅かったのかと聞いたら、知らないおじいさんが坂道で自転車を押していて、大変そうだったから一緒に押して帰ってきたという話だったのです。どうしてそれをしようと思ったのかと聞いたら、今、生活科で家族ニコニコ大作戦というのをやっていて、ニコニコさせるにはどうしたらいいかというのを考えながら帰ってきたところ、困っている人がいたから、自然にそういうのを助けたという話だったのです。

私の子どもがたまたまそういうのをやっていたのですが、別にそれを見ていないだけで、皆さんに起こっていることだと思うのです。今、不審者とか、ソーシャルディスタンスとかで、知らない人と話さないとか、距離をとるといような分断社会になりつつあるのですけれども、このコロナ禍の学校の授業の中でも、そういう気持ちが育まれているということがすごくうれしいなと感じた出来事でした。

以上です。

**○教育長** 先ほど後藤委員のほうから、コロナ禍の中での授業時数の確保や、子どもたちの学力の差についてのご意見がございましたが、教育委員会としてもその実態把握に努めまして、必要な場合には、支援とか指導を学校に対して行うことに努めていきたいと考えています。

また、森山委員のほうから、中学校PTA連合会のブロック会議の中で、GIGAスクール構想についての質問が多く出たというお話がありましたが、先般、12月議会の一般質問でも、そのことについての質問が多くございました。これまでも校長会でお話はしているのですが、今後の詳細なスケジュールについて、今後の校長会等を通じて丁寧に説明してまいりたいと思います。



それから、井上委員のお話は、心温まるお話で、来年度からコミュニティ・スクールを全校に広げていこうという中で、いわば地域社会総ぐるみで子どもたちを育ていこうという考え方の中で、大変頼もしいお話をお聞かせいただいたと思います。

そのほか、事務局も含めて、報告はよろしいでしょうか。

○**学校教育部長** 私から、2020年第4回町田市議会定例会の学校教育部所管分についてご報告させていただきます。

第4回定例会は、一般質問が12月3日から9日までの5日間、文教社会常任委員会は12月11日に開催されました。

初めに、一般質問は、学校教育部に対して15人の議員から質問がありました。

内容としては、これは表題だけになりますが、「中学校給食の今年度実績と今後の方向性」、「中学校給食について(その3)」、「歯科保健の向上について」、「少人数学級について」、「リモート学習の進捗について」、「子どもの体力低下について」、「タブレット端末の自宅への持ち帰りやデジタル教科書についての考え方」、「『取りに行くのが大変』冬は冷たい』『量が合わない…』子どもたちの中学校給食のお悩みを解決していこう!」、「令和元年10月の文科省通知から、新たな不登校支援を町田市で実現して行こう」、「危険な道路遊びについて」、「側弯症の早期発見のために」、「陰山メソッドの実践について」、「GIGAスクール構想について」、「小学校のような豊かな中学校全員給食の早期実現を求めて」、「少人数学級が求められる中で、学校統廃合計画の見直しを求めて」、「タブレットを活用して子どものまちづくり参加を」、「自殺対策について」、「ICT教育について」、「貧困家庭の『食』と『学習支援』について」の表題で(1)として「中学校給食」、「性と生について(その2)」の表題で「プライベートゾーンの指導について」、「ユネスコスクールについて」。以上が一般質問でございます。

次に、12月11日に行われた文教社会常任委員会では、2020年度補正予算と請願2件についてそれぞれ審議していただきました。

補正予算については、主に小学校特別教室等空調設備更新工事の増額と、小学校5年生、中学校1・2年生の集団宿泊行事が中止となったことに伴う看護業務委託料などを減額したものでございます。

次に、請願の1件目は、20人以下学級の実現とそれに見合う学校数、教室数の確保、教職員の増員、特別支援学級の学級編制基準の改善、そして学校統廃合の中止を求める請願です。20人以下学級などについては町田市単独で実現することは困難であること、また、

学校統廃合を含めた通学区域の見直しは、将来のよりよい教育環境をつくるためには必要な議論であることを答弁し、常任委員会では不採択となりました。

2件目は、オンライン授業の実現と制度確立を求める請願です。これは新型コロナウイルス感染症の感染への不安から学校に来られない子どもたちが一日も早くオンライン授業を受けられるようにしてほしいというもので、既に取り組みを行っており、今後も学校に来たくても行けない児童・生徒などに寄り添った対応を実施していくと答弁いたしました。こちらについては常任委員会では全員一致で採択されました。

補正予算と請願につきましては、この後、12月23日の本会議で採択が行われます。

報告は以上となります。

**○生涯学習部長** 私からは、第4回市議会定例会の生涯学習部所管分の案件につきましてご報告いたします。

12月3日から9日にかけて行われました本会議の一般質問におきましては、5名の議員から質問がございました。

1件目は、生涯学習センターについての質問でした。先日実施した生涯学習センターのアンケートに関する事、生涯学習センターの役割に関する事、管理運営体制に関する事などに対する質問でした。

2件目は、ニューヨーク公共図書館が行っている就労支援や学習支援など、資料の貸し出し以外の仕事や、予算の一部が民間からの寄附によって賄われている形態に、町田市立図書館も学ぶべき点があるのではないかという趣旨の質問でした。

3件目は、図書館のあり方見直し方針と効率的・効果的な図書館サービスのアクションプランに反対する立場から見直しを求める趣旨の質問でした。

4件目は、図書館に公共フリーWi-Fiを設置してはどうかという質問です。小・中学生にタブレット端末が貸与されるのを機に、公共フリーWi-Fiを図書館に導入し、それと同時に、集まって勉強ができるスペースがあるとよいという趣旨の質問でした。

5件目は、効率的・効果的な図書館サービスのアクションプランに関する質問です。今後アクションプランを積極的に進めるべきという立場からの質問でした。

一般質問については以上でございます。

今議会におきましては、生涯学習部からは議案の提出及び行政報告すべき案件がなかったため、質疑及び常任委員会については該当がありませんでした。

以上、第4回定例会の生涯学習部所管分の案件につきましてご報告いたしました。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などありましたらお願いいたします。  
——よろしいでしょうか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

次に、日程第3、報告事項に入ります。

本日の報告事項は3件ございます。

まず、報告事項（1）について担当者から報告させていただきます。

○施設課長 「(仮称)町田市立学校個別施設計画の進捗状況について」の報告をさせていただきます。

学校施設の現況や利用状況、将来の社会状況の変化を踏まえ、長寿命化や建てかえを計画的に行うために、町田市立学校個別施設計画の策定を進めています。

2020年5月の教育委員会定例会に報告した以降に整理した「学校施設別条件シート（全校分）」と今後の進め方についての報告をさせていただきます。

1「目的」です。学校個別施設計画は、町田市の公共施設再編計画に基づき、全ての学校施設の劣化状況や利用状況等を踏まえて、機能維持を目的とした中規模改修や機能向上を目的とした長寿命化改修並びに改築を計画的に行うために策定するものです。

また、この計画に基づき、中・長期的な学校施設のライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図り、計画的に老朽化対策を進め、学校施設に求められる機能・性能を確保するものです。

下に図があります。町田市教育プラン2019－2023の「基本方針Ⅱ：充実した教育環境を整備する」というところを受けて、現在「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」と「(仮称)町田市立学校個別施設計画」の2つを立案しているところです。この2つは連動して進めていくことになります。

右側です。国のインフラの基本計画が平成25年にありましたが、これを受けて町田市では、2018年に町田市公共施設再編計画を策定いたしました。その中で「児童・生徒が良好な学校環境で学べるよう、段階的に必要な適正規模・適正配置を実施する」、「適正な維持・管理のための長寿命化や計画的な建て替えを実施する」等がございました。これを受けて、国の指導のもとに町田市立学校個別施設計画を立案しているところでございます。

2「計画期間」ですが、2055年までの34年間です。非常に長期にわたっての計画です。こちらについては町田市公共施設再編計画と整合させているところです。

3「対象施設」は、小学校、中学校合わせて62校全校です。なので、新しい学校につい

でも施設計画が必要だということになります。

裏面になりますが、この施設計画の進捗状況です。こちらについては文部科学省の学校施設の長寿命化策定にかかわる解説書に基づき策定をしているところです。

(1)「2019年度調査内容の結果」です。①目的・対象施設、②学校施設の現状と課題、③改修・改築の優先順位づけ(案)、④学校施設整備の考え方(案)、⑤施設別条件シート(町田第一小学校)ということでご紹介をさせていただきました。今回この施設別条件シートが全校そろったこともございますので、学校の現況についてご報告させていただくところでございます。

現在の改修の考え方ですが、校舎や設備の改修の周期の目安をもとに学校の老朽化対策を進めているところでございます。例えば校舎の改築は50年から60年、中規模は20年から30年、空調は16年から19年ということで進めてまいりました。また、学校の安全対策として、ブロック塀の改修、あるいは熱中症対策としての体育館空調等、新たな課題については優先的かつ積極的に進めてきたところでございます。こちらについては児童・生徒の安全確保、あるいは施設の機能維持ということで、今後も進めていくところでございます。

5「今後の進め方について」でございます。(1)2020年度検討内容ですが、学校施設の整備方針の作成、中期・長期での計画立案、また、適正規模・適正配置の検討状況を踏まえた改善の方向性の決定等、進めていきまして、まとめてまいりたいと思います。

なお、現在まちだの新たな学校づくり審議会で検討されている「適正規模・適正配置を含む新たな通学区域のあり方及びあり方検討部会における新たな学校づくりの基本的な考え方(基本理念 基本方針 学校施設機能のあり方)」を踏まえて策定をしてまいります。

また、2021年4月に審議会から答申が予定されておりますが、その後、教育委員会で策定する(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画の内容を反映し、この個別施設計画を更新していくところでございます。

資料をご覧ください。資料の見方をご説明させていただきます。この内容については、学校施設の現況について調査した内容を整理したものになります。今後これをもとに改修計画を立案していくということでございます。

特徴的なところですが、上段の真ん中より右側に「その他施設状況」ということで、避難施設の関係、マンホールトイレ、非常用発電機、応急給水栓等の情報も入れております。右側には今後の「児童生徒数・学級数の変化」ということで、審議会のほうに出させていただいているデータの落とし込みをしております。

中段の「建物情報一覧表」については、それぞれの学校のデータを入れさせていただいています。左側が基本的な情報、真ん中が躯体の健全性についての情報です。これは耐震診断、耐震補強をやっていくときのデータをもとに、調査した学校については詳細結果を入れております。

その隣の「躯体以外の劣化状況」については、2017年度の調査になりますが、このときのデータを落とし込んでいるところがございます。

なお、この辺のデータにつきましては、今後この長寿命化が可能かどうかをはかるために置いているデータで、数値化したものでございます。適時改修をしてきておりまして、ここについてもそれぞれ適時改修・更新をしていくことになります。

右側のほうに移りまして、今までの大きな工事の履歴等がございます。今後ここをもとに改修計画を立てていくことになります。

下は周辺図とそれぞれの学校の配置図ということで落とし込みをしております。

説明は以上です。

**○教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（2）について担当者からご報告いたします。

**○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長** それでは、報告事項（2）「令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰について」でございます。

文部科学省では、PTAの健全な育成・発展に資することを目的として、優良な実績を上げているPTAを表彰する優良PTA文部科学大臣表彰を毎年実施しております。今年度、町田市教育委員会では、被候補団体からの申し出により2団体推薦しておりましたが、11月に表彰が決定し、表彰式がとり行われましたので、ご報告させていただくものでございます。

被表彰団体は、町田第三小学校PTAと町田第一中学校PTAの2団体でございます。

町田第三小学校PTAは、活動を円滑に引き継ぐための文書づくりなど、わかりやすいシステムの構築や、多くの人に参加できるような役を創出するなど、PTA改革に力を入れていることや、読み聞かせ活動によって情操教育を支援するとともに、保護者の読み聞かせサークルが地域の幼稚園を訪問するなど、地域とのつながりを生み出していること。

町田第一中学校は、校区内の町内会や自治会、子ども会に校外指導部員を派遣して連携体

制を築くとともに、地域のお祭り等で生徒のボランティアを募るなど、学校と地域をつなぐ役割を果たしていることや、地域の小学校3校のPTAと交流を深める会を主催し、PTA活動の成果や課題などの共有を図っていることなどが優良な実績として評価されたものでございます。

なお、町田市における表彰は初めてのこととなります。

最後に、「表彰までの経過」と、「その他」として2018年度から今年度までの表彰団体数を記載しております。参考にご覧ください。

報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について担当者から報告させていただきます。

○**生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長** それでは、報告事項（3）について報告をさせていただきます。

2020年7月29日付で生涯学習審議会へ「今後の町田市立自由民権資料館のあり方」について諮問し、11月17日に答申をいただきました。

お手元の概要と答申書をご覧ください。

答申の構成と概要でございます。まず「町田市及び自由民権資料館を取り巻く環境」については2ページから3ページに、「自由民権資料館の概要」につきましては4ページから6ページに示しております。答申書の7ページから11ページには「これからの自由民権資料館について」として、「目指すべき姿」を3点に整理していただいております。

1点目は「自由民権運動の学びを現代（地域）に活かす」でございます。

全国に3館しかない自由民権を冠した施設であるというブランド力を生かし、市内外に研究成果を発信していくことで、地域の魅力を高めるとともに、市民の郷土への愛着や誇りにつなげていくこととしております。

具体的な取り組みといたしましては、市内小・中学校の社会科や総合的な学習で“町田の自慢”として自由民権運動を学ぶことができるような教材を作成することなどを上げていただきました。

2点目は「町田市域の歴史を継承する」でございます。

歴史史料を収集・整理・保管し、調査・研究をしっかりと行うことで、町田市域の歴史を継承していく郷土資料館としての役割を担うこととしております。

具体的な取り組みといたしましては、町田市域の歴史を学べる郷土資料館であることを知ってもらえるよう、自由民権資料館の改称あるいは愛称やキャッチコピーを検討することや、市内に点在する歴史資源を結びつけた各地域のフットパス、町田全体をさまざまな歴史テーマで楽しめるバスルートを作成し、市内外に発信していくことなどをご提示いただきました。

3点目は「歴史をとおして人や学びを循環させる」でございます。

市民の歴史学習の拠点として、一人一人が自分に合った形で歴史を理解し、楽しく学べるような環境を整備していくこと、また、自由民権資料館で学んだ成果を生かす場所につなげていくことで、人や学びが循環する仕組みを構築することとしております。

具体的な取り組みといたしましては、オンライン講座の実施や、展示解説文のデジタル化など、ICT化を推進する。また、自由民権資料館で学んだ人が起点となり、人から人へ歴史が継承されていくような仕組みを整えることなどをご提示いただきました。

最後に、「運営体制について」でございます。答申書では11ページに示されております。自由民権資料館としてこれまで築き上げてきた専門性をしっかりと継承していくことが何よりも大切であるとした上で、直営による運営が望ましいと考えるが、一方で、広報業務などの一部の業務を委託することは、学芸員が専門性の高い業務に注力する時間を確保できることにつながり、よりよい効果を生み出す可能性がある。運営体制の検討に当たっては、経済的効率化の視点だけでなく、導入例をしっかりと検証しながら慎重に進めていく必要があるということが示されました。

この答申を踏まえ、今後、町田市立自由民権資料館のあり方見直し方針の案を作成する予定でございます。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。

○八並委員 このような答申をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

今、薬師池を中心にして、四季彩の杜として市民の皆様に非常に楽しんでいただいていることと思います。ぜひその流れに乗って、自由民権資料館についても市民の皆さんの憩いの場所になっていただきたいと思いますと思っております。

答申にもございましたように、“町田の自慢”の1つとして、市民の皆様にも同じようなことを思っただけでうれしいなということを、この答申をいただいて改めて思いました。よろしくお願いいたします。

○教育長 そのほかにいかがでしょうか。——よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

休憩いたします。

午前 10 時 44 分休憩

---

午前 10 時 45 分再開

○教育長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○教育長 以上で町田市教育委員会第 9 回定例会を閉会いたします。

午前 10 時 46 分閉会